

03

先生の学力は大丈夫!?



英検3級に受からない中学・英語教師

国が示す英語教員の必要レベルの目標はTOEIC730点(英検準1級相当)といわれています。文科省が受験するように指示しているにもかかわらず、京都市の場合、本年度のTOEIC受験者は中学校教諭13人、高校教諭は5人と受験者が極端に少ないので現状です。しかも受験した中学校教諭13人のうち、500点(英検3級程度)以下は2名、最低点は375点でした。300点台といえば、**残念ながら本当の基礎以外はほとんどわかっていないレベル**と言われています。未だ、7割以上の教員が受験していないことを考えると、これは氷山の一角とみるべきです。

学力・指導方法、チェックの仕組み

学力が向上したからといって必ずしも教え方が上手とは限りませんが、生徒より学力が劣るとなると教育の質の根源に関わります。いつたん教員になった後は免許更新時等に講習を受けるに留まり、学力・指導力のチェックをされる事はありません。



まずは、学校の先生の学力、指導方法のチェックの仕組みづくりを行い、教育の質の担保に向けた対策を練るよう提言しました。

04 衝撃! 「あなたは避難所に入れますか?」

避難所充足率は52%、仮設トイレも充足せず!

防災意識が高まる中、避難計画に関して調査したところ、最大想定避難者数が避難所の受け入れ可能人数を大きく上回り、市内の充足率は52%であることが判明しました。最悪、避難所に押し寄せた避難者の半数が避難所に入れない事態が発生しかねません。未開放の小学校の教室を使えば充足率は100%を達成できる為、**緊急時の教室開放の権限を学校長から区長等へ移管し、現場で混乱せずスムーズに**

避難できるよう計画段階でのルール作りを行うよう提案しました。

また、意外と軽視しがちで重要なのが**災害用トイレの配備ですが、こちらも配備率が50%台と低迷する区が4区もありました。**市内の配備数は充足していますが、大半が消防学校の倉庫に積まれており、各区に配備ができていないことが発覚しました。



即座に各学校に備蓄スペースの確保と配備を申し入れました。



05

所得制限なしの第三子保育料無償化に向けて



京都市でも第三子の保育料無償化を開始し、多子世帯の負担軽減につながると大いに期待していた矢先、京都市の「第三子保育料無償」には重大な落とし穴が**実は夫婦合算の世帯所得が約640万円を超える**と、子どもが3人同じ保育園に通う条件を満たさなければ第三子の保育料がタダにはなりません。「一生懸命働いても、所得が上がった方がかえって第三子がタダにならない」というお声も聞かれます。

働く女性を応援する観点からも、**所得に関わらず全世帯の第三子保育料無償化**を求めております。



内容は次号より
順次掲載予定!
こうご期待ください!

税金の適切な使用を!

市民の納得感のために指摘・提案に奮闘しております!!

財政非常事態に公務員給料UP!? 民間感覚で見直しを!

市長のイラスト代に
300万円!!



議員だけじゃない?
役人の海外視察



1億6,000万円の設備投資で、イベント参加者23名。

燃料電池自動車の乗車体験は見直しを



幼稚園の3年保育の拡充を!

保育園からの電話にヒヤヒヤ。
病児保育の充実を。

中心部では平家の5割が対象?
町家改修の厳しい規制に苦言。



美術館の屋外彫刻物の
維持費に2000万円!?



公共サービス低下を防ぐため、
人口の減らない街づくりを。
定住促進の提案!

公平性のある競争を!
もっと開かれた入札制度へ。